




3歳児クラス 10月 第1回 「お月さまってどんなあじ？」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：「♪出た出た月が～」と絵本を持って登場。 講：「あ！まん丸お月さま」「お月さま食べたことある？」などと問いかけ、お月さまに興味を持ってお話を始める 	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	①だんだんとお月さまに手が届きそうになる場面を楽しく生き生きと表現する。 ②「次はどんな動物かな？」と期待感を持たせながら進行する。 ③一番下で頑張る「カメ」の気持ち、最後の魚のこぼの意味を伝えながら読み進める。	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 絵本を持って登場 子ども達と一緒にお話を楽しむ 	

がくしゅうタイム

活動①		ねらい	巧緻性	はさみを使ってカードを切り、月に手が届くようにカードを貼っていくことができる。	
設問	はさみを使って動物カードを切り、お月さまに手が届くように動物カードを貼っていきましょう				
つなぎ	<ul style="list-style-type: none">・講：「お月さまってどんな味がするのかな？食べてみたいねー。」・保：「♪出た出た月が～」と提示用プリントを折り月の部分だけを見せながら登場。				教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・講：プリント受け取り「わー、まん丸お月さま。あれ？誰がいるよ…」と折って隠れていたカメを見せる。「これ誰？そうカメさん。どうしたの？」「お月さまを食べてみたいけど、お月さまに手が届かないから誰か手伝ってくれないかなーって言ってるよ。どうしたら手が届くかな？」と問い掛け子ども達と考える。・保：「ぼく達が手伝ってあげるよ」と提示用動物カード提示。・講：「動物の仲間がたくさん。嬉しいね、でもどうやったら手が届くかな？このまま（繋がったまま）だと動物さん、横になって苦しうだし…」絵本のストーリーを思い出しながら子ども達とどうしたら月に手が届くか考える。子ども達のことばを受けながら以下の様に導く。<ul style="list-style-type: none">①カードをはさみで切り動物をバラバラにする。②月に向かってカメの背中の上にカードを順番に貼って行く。（両面テープのゴミは皿の中）※この時「カメの上にゾウ、ゾウの上にライオン」と言ったように立体的な感覚で上に乗せることを意識させながら貼っていく。※今回は絵本の中の「キリン・シマウマ」が入っていない。気が付く子がいる場合は、気が付いたことを褒め「どこに行ったのかな？お散歩に行ったのかな？」などと話したり、また気が付かない場合でも時間に余裕があれば「ここにいない動物は？」とクイズにして思い出させても楽しい。 <p>「やったー、月に手が届いたよ」と見本を見せていく。</p> ・保：「ぼく達もお月さま欲しい。誰か手伝ってくれないかな？」とプリント提示。 ・講：「こんなにたくさん。皆も手伝ってくれる？でも動物さん達がいらないね」 ・保：「いるよ！」と動物カード提示。プリントとカード、はさみを配布する。 ・子：カードの黒い線をはさみで切り、プリントに貼っていく。<ul style="list-style-type: none">※早く貼れた子はクレヨンでお月さまを塗って時間を調整する。その時「どんな味がするかな？」と感覚行動を入れ、味を想像しながら塗ると良い。 ・講：子ども達の貼ったプリントを確認。称賛。<p>「みんなも夜になったらお空のお月さま見てみようね」「今日のお月さまはどんな形かな？どんな味がするかな？」などと夜空の月に興味と期待を持たせて活動を終了する。</p>				P 1 動物カード 5 種（両面テープ付き） 提示用プリント 提示用動物カード 5 種（両面テープ付き） ★はさみ ★クレヨン 皿（シールゴミ用）
					保育士の役割
					<ul style="list-style-type: none">・提示用プリント提示・提示用カード提示・配布用プリント提示・カード、はさみ、テープ配布・制作補助・不要な道具の片づけ・称賛・「どんな味？」と子ども達に声掛け・プリント配布・指示理解できない子の補助・称賛・プリント回収

数チャレ	数の操作	「合わせていくつ？」を理解して「4個」の数の操作に答えることができる。	教材
設問	「4個」の数の操作 合わせていくつ？		おはじき 皿
活動内容	・ 前回（9月）の活動を思い出し、子ども一人ひとりの理解度に合わせて「4個」のおはじきを二分割して2枚の皿や、左右の手のひらに乗せて「こっちとこっち、合わせていくつ？」と課題提示。個々に答えさせていく。（解らない子は一緒に指さし数え確認する）		保育士の役割 ・ 2枚の皿を提示 ・ 「合わせていくつ？」と設問。必要に応じて一緒に数える

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「ひょい」と動く月の動きを映像を操作して見せることが出来たか
活動① 巧緻性	はさみ・ゴミ皿の指導をきちんと行ったか 位置の言葉に触れたか（〇〇の上は？下から〇番目は？等）
数チャレ	「 $2+2=4$ 」であることを「こっちとこっち、合わせていくつ？」と瞬時に理解させることが出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・立体構成 ***

積み上げ遊び

●積み木はもちろん、身近な材料を使って、立体的に高く積んで楽しんでみましょう。

※単調に見えても、子どもは繰り返し遊ぶ中で、どうしたら倒れないかを考えたり、自分なりのカッコ良さを追求して左右対称に積んだり…子どもなりの発見がたくさんある遊びです。作って壊してを繰り返しながら、遊びを無限に広げて楽しんで欲しい遊びです。

もっと上に高く
積んでみようか

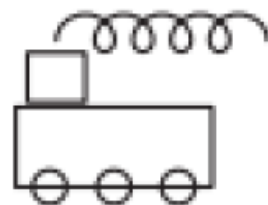


3歳児はパズル遊びなどに代表される平面構成から積み木などの立体構成への興味・理解が高まる年齢です。積み木などの遊具は常に身近に置いてあげましょう。



今月のえかきリズム

*** きしゃ ***



えかきリズム
の動画は
こちら



楽習タイム
の動画は
こちら

